

平成21年度（第45期）収支決算報告

一 般 会 計

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①基本財産運用収入	690万円
利息収入	560万円
配当金収入	130万円

利息収入は安全性の高い国債、道債を主に運用しており、ほぼ予算通り。配当金収入は、予算額190万円に対して所有する株式の配当収入が景気後退の影響で減少し、59万円の減。

②寄付金収入

寄付金収入	4,031万円
-------	---------

予算額5,100万円に対し、1,068万円の減。景気後退の影響や大口寄付の減少など全般的に寄付が低迷し、予算に届かなかった。

③雑収入

受取利息収入	666万円
--------	-------

貸付事業引当有価証券、道新みらい君奨学金引当資産など運用財産の受取利息収入は、予算額890万円に対して223万円の減。ドル建て、変動型の債券の利子が金利の低迷などから予想を下回った。

④他会計からの繰入金収入

特別会計からの繰入金収入	693万円
--------------	-------

収益事業の貸付事業会計からのみなし寄付金20万円に、便宜的に一般会計で処理している事業運営費と基金運営費を作業量基準で一般会計と貸付事業会計で折半している貸付事業会計の負担分672万円を合計した繰入額。

2. 事業活動支出

①事業費支出	5,639万円
--------	---------

予算額5,925万円に対して285万円の減。奨学金支給や小規模授産施設などへの助成事業からなるが、道新ボランティア奨励賞で助成額50万円の特別奨励賞の対象団体が出なかったことなどから、予算を下回った。

②事業運営費支出	175万円
----------	-------

基金をPRするため道新、道新スポーツを中心とした新聞などへの広告掲載料。
予算額170万円に対して5万円の増。

③基金運営費支出	1,169万円
----------	---------

会議費や旅費交通費などを切り詰め、予算額1,194万円に対し24万円を削減した。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入	68万円
-----------	------

将来の退職に備えて積み立てていた資産を、前事務局長の退職金支払いのため取り崩した。

2. 投資活動支出

特定資産取得支出	41万円
退職給付引当資産取得支出	41万円

21年度末に必要な退職金額を積み立てた。